

～特集～

朝市には『取れたて、出来たて』の商品がある！
 会話と交流による人と人との『つながり』がある！

かながわ朝市ネットワーキング事務局 大場保男

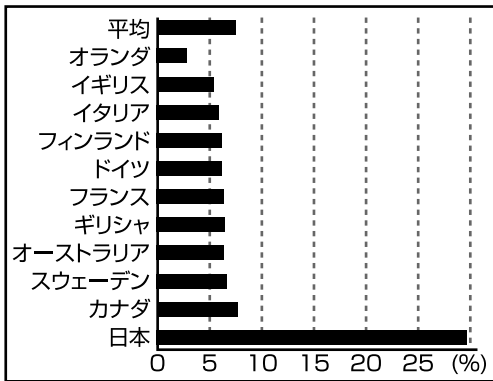
東日本大震災は、かつて体験したことがないような未曾有の被害をもたらしました。被害の状況が世界に伝わると、先進諸国からだけでなく、今なお貧しい暮らしを送っている国の人々からも救援の手が差し伸べられました。不幸な出来事を通してですが、世界中の人々の気持ちがつながっていることを実感させられました。

国内でも多くのボランティアが現地に向かい、被災地では地域の人たちが互いに助け合いながら、苦難に立ち向かっています。今回ほど多くの人が、人と人が『つながる』ことの大切さを感じたことはなかったのではないのでしょうか。

世界で一番孤独な
 日本の子どもたち

下のグラフをご覧ください。

ユニセフ・イノチェンティ研究所が先進国の15歳の子供たちを対象に行ったアンケート結果です。「自分は『孤独だと思つ』という質問に対して『はい』と答えた子供たちがダントツで多かったのが日本でした。一番少なかったのがオランダで26%、日本以外で最も多かったカナダで7%、平均でも14%なのに対して、日本は26.8%となっています。『孤独だ』と感じている子供たちが多いということ



は、大人もそのように感じている人が多く『無縁社会』と言われるような人間関係が希薄な社会になってしまったものと思います。

朝市は、人と人が『つながる』場

ある商店街の会長さんが朝市の終わった後、こんなことを言っていました。「朝市をやると多くの人が来てくれます。確かに安さに惹かれてという面もありますが、これだけではないと思います。朝市では売る方も買う方も笑顔です。お客様と商人の間に会話と交流があります。昔の活気ある商店街の雰囲気朝市にはあります」と。

単に商品を買って求めるだけならば、スーパーに行った方が便利かも知れません。しかし、朝早くわざわざ朝市に足を運ぶのは、そこでのふれあいや交流を求めている人が多く、朝市が、人と人が『つながる』場となっているからだと思います。さらに、パリで始まり今や世界の29か国、800万人に広まっている「隣人まつり」や音楽ライブなどと組み合わせると、より広がり魅力のある朝市にして

いくことができるでしょう。

朝市のもつ一つの魅力は『鮮度』

その日の朝に収穫した新鮮な野菜、作りたてのパンや惣菜などを元気な売り声とともに買うことができるのも朝市の魅力の一つです。そのため、売る側では朝早くから販売する商品の準備をしています。

『地産地消』の意識の高まりも朝市の人気の一因になっています。朝市をきっかけにして、地域の農家の野菜を並べる青果店、地域で取れた野

菜を使ったメニューづくりを行う飲食店なども出てきています。



とれたての地場野菜は人気

三崎朝市
海のバーベキュー大会
 三浦新鮮野菜と三崎まぐろセットを販売いたします。
日時 7月24日・31日・8月7日(日)
 9:00～13:00
場所 三崎朝市特設会場
参加費 1セット(2人前)1,700円
申込み 三崎朝市協同組合
 ☎046-881-4488
<http://www.misaki-asaichi.com/>

厚木市民市が三崎朝市にくる！
『厚木の野菜と大山とうふ 秋の味覚いっぱいセール』
9月18日(日) 5:30～
三崎朝市会場
 同時開催
三崎朝市敬老の日
 70歳以上の方にお花をプレゼント
 ※5:30スタート 先着200名様